

## 平成21年3月期 第1四半期決算短信

平成20年8月4日

上場取引所 JQ

上場会社名 株式会社 クイック

コード番号 4318 URL <http://919.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 和納 勉

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長兼経理部長 (氏名) 藤原 功一

TEL 06-6375-0061

四半期報告書提出予定日 平成20年8月8日

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成21年3月期第1四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第1四半期	2,425	—	△57	—	△58	—	△44	—
20年3月期第1四半期	2,787	4.2	13	△92.1	20	△87.9	11	△87.3

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第1四半期	△2.36	—
20年3月期第1四半期	0.61	0.60

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年3月期第1四半期	3,749	2,316	61.5	120.80
20年3月期	3,989	2,456	61.3	128.12

(参考) 自己資本 21年3月期第1四半期 2,307百万円 20年3月期 2,446百万円

### 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭				
20年3月期	—	2.50	—	4.50	7.00
21年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	2.00	—	2.00	4.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

### 3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	5,457	—	△17	—	△11	—	△17	—	△0.89
通期	12,000	4.9	440	20.0	450	12.4	230	△24.8	12.04

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

新規 一社(社名) 除外 一社(社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注)詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第1四半期 19,098,576株 20年3月期 19,098,576株

② 期末自己株式数 21年3月期第1四半期 一株 20年3月期 一株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第1四半期 19,098,576株 20年3月期第1四半期 19,086,576株

#### ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 平成20年5月7日に公表いたしました平成21年3月期第2四半期連結累計期間及び通期業績見通しの変更はございません。

2. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、3ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

3. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

## 定性的情報・財務諸表等

### 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期におけるわが国経済は、相次ぐ原油及び原材料価格の高騰による企業収益の悪化を背景とした小売価格の上昇や経済全体の先行き不透明感から、設備投資や個人消費への下方圧力が強まるなど、景気は後退感を増してきております。

国内の雇用情勢につきましても、景気後退感の台頭を反映して企業の人件費抑制の傾向は強まっており、団塊世代の大量退職や少子化といった構造的な労働力不足はあるものの、有効求人倍率が1倍を切る水準で推移し、新規求人数も減少傾向にあるなど厳しさを残しております。

このような状況の下、当社グループでは、リクルーティング広告事業におきまして、正社員・派遣系採用広告が昨年度の有力媒体休刊、人材ビジネス系顧客からの受注減少の影響を残しており、またアルバイト・パート系採用広告につきましても雇用情勢の後退感の影響を受けました。このような中、在米留学生向け就職情報フリーマガジン「ハタラク 北米版」第2号の発行、さらには中国国内発行のフリーマガジン内にて在中留学生向け就職情報コーナー「ハタラク 中国版」を企画実施するなど国境を越えた新たな取り組みにも着手いたしました。売上高、営業利益とも前年同期に比べ減少いたしました。

人材サービス事業におきましては、投資を続けてまいりました人材紹介事業の自社運営サイト「転職×天職」の知名度及びブランド構築が進み、転職希望登録者数（エントリー数）が堅調に増加したほか、業界・業種などに細分化した営業組織体制も効を奏し、前年同期に比べ売上高は増加いたしました。しかしながら、当期に大量採用いたしました新規学卒者の人件費をはじめとした経費増や継続的な事業への投資の影響などもあり、営業損失は拡大いたしました。

情報出版事業につきましても、景況の悪化に加え、競合他社との競争激化により依然苦戦を続けておりますが、媒体原価の見直しを進めたことにより、前年同期に比べ売上高は減少しましたが、営業損失が縮小いたしました。

IT関連事業につきましても、昨年度にデザイン変更を行った「日本の人事部」が緩やかに成長いたしました。主力商品である「人材バンクネット」が雇用情勢の景気後退感を受け、人材ビジネス系顧客からの受注が伸び悩み、売上高、営業利益ともに前年同期に比べ減少いたしました。

この結果、当第1四半期における業績は、売上高は2,425百万円（前年同期比13.0%減）、営業損失は57百万円（前年同期は営業利益13百万円）、経常損失は58百万円（前年同期は経常利益20百万円）、四半期純損失は44百万円（前年同期は四半期純利益11百万円）となりました。

### 2. 連結財政状態に関する定性的情報

#### ①財政状態の変動状況

当第1四半期末における総資産は、現金及び預金の減少、売上債権の減少などにより3,749百万円となり、前連結会計年度末と比較して240百万円減少しました。

負債につきましても、前連結会計年度末と比較して短期借入金が増加しましたが、買掛金等が減少したことにより100百万円減少し、負債合計は1,432百万円となりました。

純資産につきましても、四半期純損失の計上、配当金の支払等により前連結会計年度末と比較して140百万円減少し、2,316百万円となりました。なお、自己資本比率は61.5%と前連結会計年度末と比較して0.2ポイント改善しました。

#### ②キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の増減額は、税金等調整前四半期純損失の計上、配当金の支払等により、前連結会計年度末と比較して101百万円資金が減少し、当第1四半期連結会計期間末における残高は934百万円となりました。当第1四半期連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況は、次のとおりであります。

##### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

税金等調整前四半期純損失は63百万円であり、売上債権の減少189百万円等により資金が増加しましたが、仕入債務の減少140百万円、法人税等の支払61百万円等により資金が減少したため、営業活動の結果使用した資金は61百万円となりました。

##### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

固定資産の取得による支出19百万円等により資金が減少したため、投資活動の結果使用した資金は19百万円となりました。

##### （財務活動によるキャッシュ・フロー）

短期借入金が増加しましたが、配当金の支払86百万円等により資金が減少したため、財務活動の結果使用した資金は13百万円となりました。

### 3. 連結業績予想に関する定性的情報

今後の労働市場につきましては、国内の雇用情勢の厳しさを反映して企業の人材採用ニーズにさらなる陰りが生じて来る可能性もありますが、当社グループにおきましては、人材紹介事業の収益貢献見込みに加え、各事業間のシナジーを迫及した営業施策の実施、経費削減によるコスト管理の徹底など営業力強化と効率化にも取り組んでまいります。従いまして、平成20年5月7日に発表いたしました平成21年3月期第2四半期連結累計期間及び通期業績見通しの変更はございません。

しかしながら、国内各業界の企業の新卒または中途採用に関する意欲の変化や人材採用手法の変化に関する進展状況など予測困難な要素が多い状況にあります。

こうした市場環境の変化に対し、当社グループとしましては迅速に対応しつつ、営業社員の教育体制強化と予算管理の厳格な運用に努めてまいります。

### 4. その他

#### (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

#### (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

##### 1. 一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第1四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

##### 2. 法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加算減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。また、繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度において使用した将来の業績予測及びタックス・プランニングに基づいて判断しております。

#### (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

5. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,024,571	1,126,069
受取手形及び売掛金	1,002,998	1,202,326
有価証券	40,352	40,309
繰延税金資産	153,966	104,614
その他	153,322	111,474
貸倒引当金	△1,684	△1,951
流動資産合計	2,373,527	2,582,844
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	431,071	437,250
工具、器具及び備品(純額)	29,277	32,658
土地	311,354	311,354
有形固定資産合計	771,704	781,263
無形固定資産		
のれん	533	710
その他	92,543	92,458
無形固定資産合計	93,076	93,169
投資その他の資産		
投資有価証券	84,698	83,331
繰延税金資産	73,376	85,893
敷金	292,685	303,065
その他	72,739	73,911
貸倒引当金	△12,666	△13,583
投資その他の資産合計	510,833	532,616
固定資産合計	1,375,614	1,407,049
資産合計	3,749,141	3,989,894

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	453,111	598,092
短期借入金	187,500	115,095
未払金	304,424	368,194
未払法人税等	18,132	42,227
賞与引当金	107,447	136,134
その他	330,104	228,121
流動負債合計	1,400,720	1,487,864
固定負債		
その他	32,185	45,203
固定負債合計	32,185	45,203
負債合計	1,432,906	1,533,068
純資産の部		
株主資本		
資本金	351,317	351,317
資本剰余金	271,628	271,628
利益剰余金	1,693,338	1,824,264
株主資本合計	2,316,283	2,447,209
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	847	36
為替換算調整勘定	△10,087	△280
評価・換算差額等合計	△9,239	△244
少数株主持分	9,190	9,860
純資産合計	2,316,235	2,456,825
負債純資産合計	3,749,141	3,989,894

(2) 四半期連結損益計算書  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)
売上高	2,425,333
売上原価	1,275,596
売上総利益	1,149,736
販売費及び一般管理費	1,207,392
営業損失(△)	△57,655
営業外収益	
受取利息	452
受取配当金	1,341
その他	1,641
営業外収益合計	3,435
営業外費用	
支払利息	652
為替差損	3,295
その他	19
営業外費用合計	3,967
経常損失(△)	△58,187
特別利益	
貸倒引当金戻入額	296
特別利益合計	296
特別損失	
固定資産除却損	1,661
事務所移転費用	4,218
特別損失合計	5,879
税金等調整前四半期純損失(△)	△63,771
法人税、住民税及び事業税	18,300
法人税等調整額	△37,240
法人税等合計	△18,940
少数株主利益	151
四半期純損失(△)	△44,981

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

当第1四半期連結累計期間  
(自 平成20年4月1日  
至 平成20年6月30日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純損失 (△)	△63,771
減価償却費	27,111
のれん償却額	177
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△1,183
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△28,686
受取利息及び受取配当金	△1,793
支払利息	652
固定資産除却損	1,661
移転費用	4,218
為替差損益 (△は益)	3,295
売上債権の増減額 (△は増加)	189,637
仕入債務の増減額 (△は減少)	△140,578
未払消費税等の増減額 (△は減少)	11,832
その他	△2,686
小計	△112
利息及び配当金の受取額	1,606
利息の支払額	△904
法人税等の支払額	△61,838
営業活動によるキャッシュ・フロー	△61,248
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△3,158
無形固定資産の取得による支出	△16,000
貸付けによる支出	△350
投資活動によるキャッシュ・フロー	△19,508
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	72,405
配当金の支払額	△86,085
財務活動によるキャッシュ・フロー	△13,680
現金及び現金同等物に係る換算差額	△7,016
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△101,455
現金及び現金同等物の期首残高	1,036,379
現金及び現金同等物の四半期末残高	934,924

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

a. 事業の種類別セグメント情報

当第1四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年6月30日）

	リクルーティング広告事業 (千円)	人材サービス 事業 (千円)	情報出版事業 (千円)	I T 関連事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	757,383	867,993	597,654	202,302	2,425,333	—	2,425,333
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	3,713	2,594	2,775	6,047	15,129	(15,129)	—
計	761,096	870,587	600,429	208,349	2,440,463	(15,129)	2,425,333
営業利益又は 営業損失(△)	92,530	△27,445	△20,498	19,037	63,623	(121,279)	△57,655

b. 所在地別セグメント情報

当第1四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年6月30日）

本邦の売上高は、全セグメントの売上高の合計に占める割合が90%超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

c. 海外売上高

当第1四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年6月30日）

海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

前四半期に係る財務諸表等

(1) (要約) 四半期連結損益計算書

科目	前年同四半期 (平成20年3月期 第1四半期)
	金額(千円)
I 売上高	2,787,971
II 売上原価	1,544,132
売上総利益	1,243,838
III 販売費及び一般管理費	1,230,758
営業利益	13,080
IV 営業外収益	8,359
V 営業外費用	940
経常利益	20,499
VI 特別利益	—
VII 特別損失	316
税金等調整前四半期純利益	20,183
税金費用	9,348
少数株主損失	△780
四半期純利益	11,615

## (2) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	前年同四半期 (平成20年3月期 第1四半期)
区分	金額(千円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	20,183
減価償却費	25,767
売上債権の減少額	179,272
仕入債務の減少額	△135,287
その他	△143,121
小計	△53,186
法人税等の支払額	△254,632
その他	△406
営業活動によるキャッシュ・フロー	△308,225
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
投資有価証券の取得による支出	△45,000
固定資産の取得による支出	△54,567
その他	△600
投資活動によるキャッシュ・フロー	△100,167
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
借入金増加額	41,700
配当金の支払額	△85,914
財務活動によるキャッシュ・フロー	△44,214
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	△187
V 現金及び現金同等物の減少額	△452,794
VI 現金及び現金同等物の期首残高	1,498,099
VII 現金及び現金同等物の期末残高	1,045,304

(3) セグメント情報

a. 事業の種類別セグメント情報

前第1四半期連結累計期間（自平成19年4月1日 至平成19年6月30日）

	リクルーティング広告事業 (千円)	人材サービス 事業 (千円)	情報出版事業 (千円)	I T関連事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	1,129,683	793,204	638,650	226,432	2,787,971	—	2,787,971
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	8,096	1,494	3,240	6,531	19,362	(19,362)	—
計	1,137,780	794,698	641,890	232,963	2,807,333	(19,362)	2,787,971
営業利益又は 営業損失(△)	167,610	△279	△33,437	49,935	183,828	(170,748)	13,080

b. 所在地別セグメント情報

前第1四半期連結累計期間（自平成19年4月1日 至平成19年6月30日）

本邦の売上高は、全セグメントの売上高の合計に占める割合が90%超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

c. 海外売上高

前第1四半期連結累計期間（自平成19年4月1日 至平成19年6月30日）

海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。